

よ ほん だいぼしゅう けっか  
令和3年度「みんなに読んでほしい本 大募集！」結果

応募数は1,216点（1～3年生 412点、4～6年生 804点）でした。

以下の13点を子ども読書啓発ポスターに掲載します。ポスターは令和4年4月頃に県内の小学校・中学校や図書館に届く予定ですので、お楽しみに！

【1～3年生】

『あつかったらぬげばいい』（ヨシタケシンスケ 著、白泉社） 守山市 A.N.さん  
ワクチン2回せっしゅしたママも元気になって、ばくしょうしてました。あつかったらぬげばいい、さむかったらきればいい…て、なんじゃそら！！

『オニのサラリーマン』（富安陽子 文、大島妙子 絵、福音館） 米原市 T.S.さん  
おにがわらくんは、おにのサラリーマンです。おにがわらくんのしごとは、ちのいけじごこのみはりです。おにがわらくんがおこられてもがんばって、しごとをするところがすごいです。

『しあわせおにぎり』（つちだよしはる 作・絵、あかね書房） 守山市 S.N.さん  
ステーキまきおにぎりとか、おいしそうなおにぎりがいっぱいあって、ほんとうにつくってたべてみたくなった。ぜひよんで、すきなおにぎりをさがしてみてください。

『パツエッティーノ』（レオ＝レオニ 作、谷川俊太郎 訳、好学社） 近江八幡市 H.I.さん  
みんなは泳いだり、山を早くのぼったりできました。パツエッティーノはそういうことができなから、だれかの「たりない部品」だと思い、たびにでます。だれかの部品になれるのでしょうか？

【4～6年生】

『あるかしら書店』（ヨシタケシンスケ 著、ポプラ社） 草津市 K.K.さん  
この本は、「こんな本が本当にあったらいいな」と思う本です。みりよくは店のおじさんとお客様の会話です。お客様が「…についての本ってあるかしら」と聞くと、たいてい「ありますよ」といって出してきてくれます。また、最後には意外な結末が待っています。

『かあちゃん取 扱 説明書』（いとうみく 作、佐藤真紀子 絵、童心社） 米原市 S.K.さん  
主人公のてつやはいつもうるさいかあちゃんを取 扱 説明書をつくりまします。そのなかでかあちゃんの意外な一面が見られたり、改めて家族について考えさせられる本です。

『カカ・ムラド～ナカムラのおじさん』

（ガワフラ 原作、さだまさし 著、双葉社） 長浜市 K.H.さん  
アフガンでなぞの病気が大流こう！！中村てつという医者がかけつけてついに病気の原因がわかる。その病気の正体は…。

『しっぽをなくしたイルカ 沖縄美ら海水族館フジの物語』

(岩貞るみこ 著、加藤文雄 写真、講談社) 大津市 Y. M. さん

「フジ」というイルカは原因不明の病気で、尾びれを全体の75%切りとることになってしまいました。そこで、ブリジストンやぞうけい作家が世界初の人工尾びれ作りに挑戦します。「フジ」は何回もその人工尾びれを壊してしまっていますが、ブリジストンの人たちは熱い思いで何回も作り直してくれます。

『空のふしぎがすべてわかる！すごすぎる天気図鑑』

(荒木 健太郎 著、KADOKAWA) 近江八幡市 Y. N. さん

にじ色の雲やあなのあいた雲を見たことがありますか？この本には、これらのめずらしい雲やふしぎな雲がたくさんしょうかいされています。すごくおもしろいのでぜひ読んでみてください。

『ソーリ！』(濱野京子 作、おとないちあき 画、くもん出版) 東近江市 R. M. さん

ある女の子が、「総理大臣になりたい」と言いました。そしたらみんなに笑われました。女の子は総理大臣になる夢は笑われるものだろうかと思えます。そんな、自分の将来について書かれている物語です。

『ぼくは満員電車で原爆を浴びた』

(米澤鐵志 語り、由井りょう子 文、小学館) 大津市 H. F. さん

原爆を浴びたときの話がぼくたちと同じ小学生の目線で書かれているので、戦争のこわさやつらい気持ちがとてもよく分かる本です。

『星空をとどけたい』(高橋真理子 文、早川世誌男 絵、ほるぷ出版) 東近江市 R. H. さん

病いんで外にでられない人たちのためにプラネタリウムを作ります。ですが、目の見えない子どもにどうやって見せるのでしょうか。

『みえないってどんなこと？』(星川ひろ子 写真・文、岩崎書店) 長浜市 G. T. さん

目が見えないとどのようなことになるかを、子ども達にいろいろな方法で知ってもらおう本です。目が見えないととても大変だということを改めて感じさせられました。

たくさんの応募  
ありがとう！

